

HEG オーストラリア フィールドワーク

令和7年3月19日(水)～26日(水)

- 1 目的 (1)現地大学や現地高校と連携したアカデミックワークショップ、プレゼンテーション、文化交流等により、生徒の課題研究の進展及び国際意識の向上を図る。
(2)将来、国際的に働いたり、グローバルビジネスの起業を考えたりする際に不可欠な人的ネットワーク構築術を身につける。
- 2 日程 令和7年(2025) 3月19日(水)～26日(水)
- 3 方面 オーストラリアニューサウスウェールズ州シドニー市
- 4 参加者 2年生22名(男子4名、女子18名) 引率2名
- 5 訪問先 University of Sydney 担当者)門傳昌章
Tara Anglican School for Girls Masons, Drive, North Parramatta, NSW
担当者) Kendall Morris
The King's School 担当者) Suzanne Hill
doq® Suite89 Jones Bay Wharf 26-32 Pirrama Road
Pymont NSW 2009
担当者) 作野善教

3月19日(水)

18:30 羽田空港集合 出発式

22:00 羽田空港出発 カンタス航空 060 便



3月20日(木)

9:50 シドニー空港到着

11:30 市内中心部 Myer のフードコートにてランチ

13:30 シドニー大学日本研究学科門傳研究室訪問

日本研究学科の学生さんたちとのワークショップ。本校からは2グループによるプレゼンテーションを行う。

17:30 ホテルにチェックイン

ホテル) Holiday Inn Parramatta

18-40 Anderson St, Parramatta NSW 2150

9:50 にシドニー空港到着後、シドニー市内中心部にある Myer 地下1階にあるフードコートでランチを取った後、シドニー大学を訪問した。シドニー大学では、門傳准教授のもと日本語や日本文化を学ぶ学生が約15名程参加し、本校生2グループによるプレゼンテーションと、グループごとのワークショップを行った。終了後、シドニー西部の街 Parramatta に専用車で移動し、ホテルにチェックインした。ディナーは Parramatta 駅前にある Westfield のフードコートで思い思いのディナーを食べた。

【生徒の感想】

- ・自分が思ってる以上にいろいろな国出身の方がいて、さまざまな文化を知ることができて面白かった。また、共通の趣味があったり、皆さん日本語を勉強していたりと、コミュニケーションしやすい環境だったので時間が過ぎるのがあっという間だった。ノリがいい人もたくさんいて楽しかったです！
- ・探究プレゼンはとても緊張したが、英語での質問にグループ全員が答えたことなど、最後のプレゼンとして満足いく発表ができた。シドニー大学の学生さんは日本語が上手で、交流の時は正直あまり英語を使わず甘えてしまった。
- ・日本のことを学んでいるので日本の文化に興味を持っている人が多く、とても話題を振ってくれた。反対に私は外国のことをよく知らなかったなので、積極的に会話を作ることができなかったのも、様々な知識を身につけたいと思いました。
- ・色々な国から学びに来ている方々の話を聞くことで、日本の文化が案外海外でも知られていることや、大学入学のシステムの違いがあることなどを学んだ。



17:00 ホテル着

18:00 ホテル付近のファーストフード店でディナー

3月21日(金)

Tara Anglican School for Girls、The Kings School 訪問

7:56 発のパブリックバスで Tara へ

8:40 Chapel で Kendall 先生とミーティング(男子生徒 4 人は Samantha 先生が Kings まで送迎)

Period1,2

一高生からの代表スピーチ、Tara のスクールツアー、一高の学校紹介プレゼンテーション
本校生 2 グループによるプレゼンテーション

Recess Café で果物やジュースなどのブレイクタイム

Period3,4 日本語クラスに参加。和製英語の正確な表現などをゲーム形式で学ぶ

Lunch Cafe でサンドイッチやフルーツのランチをいただく。

Period5 中庭で親善バレーボール。日本語クラスで本校生 1 グループによるプレゼンテーション。

Kings を訪問した男子生徒は、バディの授業に参加。カフェでランチをいただく。

14:30 Kings で男子生徒 4 名をピックアップ。

14:50 Tara を専用車で出発(迎いの自家用車で道路が混雑するため早めに出発)

16:00 South Windser のミーティングポイントでファームステイのホストファミリーとミーティング

【生徒の感想】

- ・Tara の生徒のみんながとてもフレンドリーで、どんどん話しかけてくれた。自分も見習って自分からコミュニケーションを取れるようになりたいと思った。
- ・私のバディは日本語が話せなかったのでも、一日中英語での会話が続いてとても疲れました。でも、Kings の日常を味わうことが出来たし、たくさん友達も出来ました。日本の高校とは異なることが多く、戸惑うことも多かったけど、バディのおかげでとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。
- ・互いの言語を勉強している同世代と交流できたことが楽しかった。ここまで楽しかったのはタラの人々の、気後れはあるものの交流しようと行動する積極性が大きな要因だと思った(自分だとそのまま気後れして何も生まれないと思う)。大学訪問よりも文化の違いを体感でき、良い経験となった。
- ・タラの学生たちは本当に日本語が上手でびっくりした。学び始めてから数年で日常会話ができるなんてすごいと思いつつ、同時に自分の英会話力の低さを悔しく思った。単純な語彙で会話することしかできず、あのときこう言えばもっと盛り上がったのと思う場面もある。ただ、文法をいちいち気にすることよりも、表情やジェスチャー、伝えようとする意思が大事なんだなと気づいた。日本のアニメやゲームの話が特に盛り上がって、日本のコンテンツの偉大さを感じた。
- ・よくこんにちは！と喋ってくれて嬉しかった。Tara で発表させてもらったが、質問にも頑張って答えることが出来たし、Tara の先生にも積極的に英語を話す勇敢さ？を褒めていただけた。似たテーマを扱う向こうの生徒とも繋がりができた。また、英語・日本語・韓国語の 3ヶ国語を話すトリリンガルの女の子と仲良くなった。その子は日本語もネイティブ並みに上手で、大学同様ここでもまた英語を勉強するモチベになった。日本に帰ってきてからもインスタで少し DM が続いて嬉しい。
- ・アジアにルーツを持つ学生さんが思っていたより多く感じた。たくさん話しかけてくれて嬉しかった。



3月22日(土)

Farm 体験

それぞれのホストファミリーのファームで、貴重なファーム体験を行った。

【生徒の感想】

・オーストラリアは自然が豊かで動物もたくさんいてとても面白いなと思ったし、ファミリーとの会話を通してネイティブの英語に触れ、コミュニケーションを通して自分の英語力もあがったと思う。また、オーストラリアの伝統的な食事や、有名な物を教えてもらったり、現地の人しか知らないような秘密の場所に連れて行ってもらったりととても

も良い経験になった。

・ホストファミリーの人たちが本当に温かく迎え入れてくれた。都市部のシドニーとはまた違って、緑地の広がるパラマッタはとても素敵なところだった。馬に餌やりをしたり、ニワトリと戯れたり、日本では経験できないことをさせてもらえた。ホストファミリーのロバートと一緒にカードゲームをしたのだが、そういった盛り上がる場面では自然に英語が口から出るようになって嬉しかった。海外の食事は本当に量が多いのと、脂っこいもの多くて、食文化の違いを感じた。また、ロバートはプロテスタントのクリスチャンで、キリスト教についての話をたくさん聞いた。一口にキリスト教といっても宗派によって全く考えが異なり、無宗教の人が多い日本では体験できない世界だった。個人的にはHEGで最も印象的な時間だった。

・不安でいっぱいだったが、ファミリー達と過ごした数日間は本当に充実していて楽しかった。過ごすうちに少しではあったが、ファミリーの話していることがわかって良かった。良い経験になったと思う。

・話の内容をふんわりとは理解できるものの自信がなく、最初の方はうまく反応できなかった。しっかりと声に出して自分の考えを伝えることが大切だと感じた。ホストファミリーはとても優しくかった。ナイフの使い方やイースターのことなど、オーストラリアについてたくさん教えてもらった。もう少し色々話せたのではないかという後悔と同時に、多くの人と話す良い機会となった。

・日本では到底体験することができないことを経験させてもらいました。馬に乗り始めたのは1歳頃だと聞いて驚きました。また、5歳児がバギーを乗り回していました。

・ムスリムの家庭だったため生活の様子から宗教を感じる事が時々あった。私は特に熱心に信仰してる訳では無いため初めての経験だった。

また、他所の家庭の事情なので口は出せないが子供たちが学校に行っていない点が気になった。自然や動物に触れのびのび育つのは良いと思うが教育の機会が奪われ、選択肢が限られている状況はどうなのかと思った。





3月23日(日)

- ・ホストファミリーとお別れ
- ・ブルーマウンテンズ国立公園観光
- ・カトゥンバの街散策
- ・シドニー市内ホテル周辺でのディナーとショッピング

9:15 にお世話になったファームのホストファミリーとお別れした。その後、専用車でシドニー郊外の代表的な観光地ブルーマウンテンズを訪れた。あいにくの雨模様で、雄大な景色は見られなかったが、急斜面を駆け下りるトロッコ列車やロープウェーに興奮した。観光後、ブルーマウンテンズの観光拠点の街カトゥンバを散策(12:15~14:45)し、シドニーのような大都市とはまた違ったオーストラリアの地方都市の雰囲気を味わうことができた。その後、エコポイントでスリーシスターズをバックに集合写真を撮ったが、残念ながら背景は霧の集合写真となった。その後、シドニー市内に戻り、ホテルにチェックイン(18:00)後、ホテル近辺のワールドスクエアでディナーとショッピングを楽しんだ。

9:15 ホストファミリーとお別れ

11:00~16:00 ブルーマウンテンズ観光、カトゥンバの街自由散策



3月24日(月)

AM doq 訪問、最終プレゼンテーション

PM 美術館・博物館研修

8:30 ホテルを出発。ライトレールのザ・スター駅で降り doq へ。代表の作野様がジャカ

ルタ出張のため、シドニー本社の須多様、片岡様にお世話になる。はじめに須多様から、doq のビジネスモデルに関するプレゼンをしていただく。クロスカルチャービジネスという日本とオーストラリアの企業のビジネスをつなぎ、日系企業のオーストラリアでのビジネス進出について様々な角度から提案するのが doq のビジネスモデルとのことであった。続いて4グループによる最終プレゼンテーションを行い、doq の2人の方からご質問やご助言をいただいた。有意義かつ濃密な2時間の企業訪問であった。

その後、ライトレールでサーキュラーキーに移動し、オペラハウス前で集合写真撮影。各自で昼食をとった後、任意のシドニー市内の博物館・美術館訪問に出かけた。

【訪問した主な博物館・美術館】

ニューサウスウェールズ州立美術館、オーストラリア博物館、ハイパーク・バラック博物館、ロックスディスカバリー博物館、シドニー博物館、タロンガ動物園

17:30 にオペラハウス前に再集合し、解散。フェリーからのダーリングハーバー周辺の夜景鑑賞など、シドニーの夕方を楽しんだ。

【生徒の感想】

・プレゼンに対して的確なアドバイスをいただき、前後関係を考えることの大切さを改めて感じました。アドバイザーの方が、一回私たちのプレゼンを聞いただけで的確なアドバイスを指摘できることに感動しました。

・私たちの発表に関して、探究の課題と考察が噛み合っていないという指摘をいただいて、とても納得した。また、他の班に対しても事業の継続、発展という視点で指摘していて、誰かを助けることだけを考えているだけではだめなんだということを実感した。

・緊張したが、無事に発表を終えられて良かった。doq 社員の女性をはじめ、海外に住んできた日本人のかなと思っていたが、大学生になってから交換留学で英会話を学んだと聞いてびっくりした。プレゼンに対する指摘が、本質をとらえた的確なものですごいと思った。

・「課題の深掘り」と「仮説の検証」は自分ができていなかった、ある意味逃げていたことだ。他のグループへの講評ではあったが、自らの戒めとして、課題と向き合う時には毎回その2つを必ず心がける。またこれは勉強計画にも活かせると言える。

・学生の頃に語学力を身につける重要性とプレゼン能力を向上させることの重要性がよくわかりました。また、明るく相手のことを見てプレゼンすることが相手の興味をひく1番の方法だとわかりました。





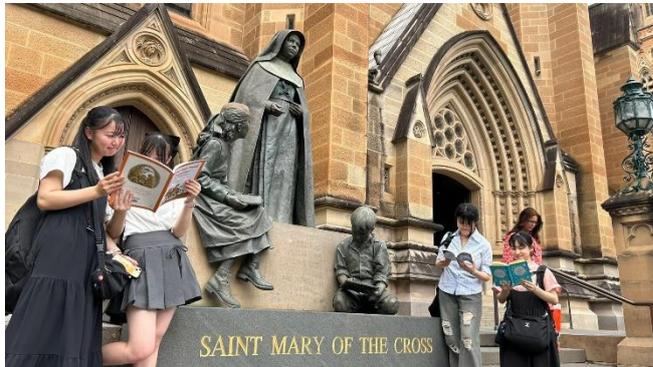
3月25日(火)

シドニー市内班別1日自由行動

8:30にホテルロビーに集合し、9グループに分かれて、シドニー市内班別自由行動を行った。

主な研修地) タロンガ動物園、シドニー王立植物園、ニューサウスウェールズ州立図書館、シドニータワー、ボンダイビーチ、QVB、ハーバーブリッジ(徒歩でわたる)、ルナパーク、セントメアリーズ大聖堂 等々

17:15にホテルに再集合。ホテルに預けておいた荷物をピックアップし、セントラルステーションに移動。鉄道でシドニー空港に向かい、出国手続きを行い帰国の途についた。



〈アンケート結果〉

(1) 今回のFWを通して自分の見方・考え方が変容したと思うこと

- ・英語のカジュアルなスラングなどのストックが自分にはないと感じた。また、文法は重要だけどコミュニケーションで最も重要なのは熱量だと感じた。
- ・人目を気にしすぎず、積極的にチャレンジすることが大事だなと改めて感じたし、現地の人たちが優しく接してくれるととても嬉しかったので、自分ももっと英語が話せるようになって日本にいる外国の方に優しくしてあげたいと思った。
- ・海外FW前と後で、「異文化」に対する認識が大分変わったと思う。FW中、生活のちょっとしたところにも共通点・相違点などの新たな発見があって面白かった。オーストラリアの人々と接して、人と仲良くなるためには積極性と笑顔が大事なのだと再認識した。
- ・今までは、ただ海外に対する憧れや、将来日本から出たいという半ば反動的な感情をもとに勉強していた。しかし、シドニーに実際に行き行って見て体験したことで、海外が一体どんなものなのか分かり、海外の素晴らしさを感じると同時に、日本の良さを再確認することができた。特に食事や水事情に関しては、日本に住んでいて良かったと思った。交通に関しては、日本の地下鉄の複雑な仕組みに比べて、オーストラリアの方がはるかにシンプルで分かりやすく、フェリーやライトレール、シェアバイクなど交通手段も多岐に渡っていて素晴らしかった。特にライトレールは、歴史的な街並みとビル群どちらにも調和していて良かった。シドニーの中心街に関しては、日本のチェーン店なども多く見受けられ、欧米というよりもむしろアジア色が強かった印象だ。個人的には銀座と横浜を合わせたような感じがした。東京でもよく見かけるブランド店やチェーン店などが多くあり、良くも悪くも先進国の都市の風景が単一化していると感じた。飲食店では、現金よりもカードを使う機会が多く、キャッシュレス化が進んでいて、自然災害国である日本との違いを感じた。
- ・自分がやりたい事をもう一度考える必要があると感じた。やりたいという意志があればできると思えるほど選択肢が多いことを知れたからだ。
- ・オーストラリアの雰囲気や文化を直接感じることができ、現地でしか気がつけような発見を多くできた。また、自分の英語で意思疎通がとれた経験は、かなり自信になったと同時に、さらに英語力を高めていきたいと思うきっかけになった。
- ・受け身でいては何も身につかないということ、自分の国のことについて興味を持たれていると嬉しいし、会話が広がるから、話すために様々な知識を身につけたいと思った。使える言語が多いことは自分の世界を広げるということをもっと実感した。

(2) 後輩たちに参考になること

〈持ってきてよかったもの〉

スリッパ(ホテルでも飛行機でも使える)、オフラインでも使える単語を調べられるもの ex 単語帳、マスク、着圧ソックス、歯ブラシ 小さな行動用バッグ 一高ジャージ、パスケース、味噌汁、日本で買ったペットボトル 2,3 本(現地でも水は買えるけどあった方が便利)、折り畳み傘、日焼け止め、アイマスク(飛行機で良く寝れる)、海外用の財布(安いやつ)、日本円を入れておく用の財布、小さくまとまるお皿(味噌汁飲む時とか便利)、お箸、ムヒ、ジップロックの袋、カップルヌードル(最終日あたりに外食に行くのがしんどかったため)、いつでも羽織れる上着、折り畳み傘、顔洗う時のヘッドバンド、水着、土一の学生証(タロンガ動物園で学割)、ハンガー、圧縮袋、帽子

〈持って来たけど不要だったもの〉

バスタオル、多すぎるお菓子、カップラーメン、現金、サイドリーダー、折りたたみ式ハンガー、日本のお菓子(自分が食べる用)、日本のペットボトル 5,6 本(2,3 本でいい)、シャンプー、リンス、ボディソープ、カールヘアアイロン

〈持ってくればよかったもの〉

・薄いカーディガン、オーストラリアドルを入れる財布、カードケース(OPAL カードを入れるため)、水着、インスタント味噌汁、学生証(タロンガ動物園で学割がきいた ないと 53 \$ も払うことになる)、洗顔料 忘れた。別に困りはしなかったけどカードゲームとか、アイマスク、エコバッグ、

〈お金について〉

*いくら使ったか

- | | |
|---------------|----------------------|
| ・ 30,000 円くらい | ・ 37,000 円 |
| ・ 57,500 円 | ・ (食費が高んで)50,000 円程度 |
| ・ 20,000 円 | ・ 40,000 円程度 |
| ・ 38,000 円 | ・ 460 \$ 程度 |
| | ・ 500 \$ 程度 |

*お金について困ったこと

- | |
|---|
| ・割り勘が難しい。
・現金は少なめでいいと思う(2万円くらいがちょうどいい)。
・物価が高いので、思ったよりも早いペースでお金がなくなっていく。特に飲み物やおやつの買いすぎに注意。
・カードの残高を確認できるアプリを自分のスマホに入れていなかったこと。
・基本カードでいい。羽田は豪ドルを Suica に変換することが出来なさそう。現金は使い切った方がよさげ。
・現金が多すぎた。
・オーストラリアドルをまあまあ用意したけど、おつり騙されたらめんどいし、カードもあるしとかで生活してたらほんとにあんま使わなかったのであんまいらないかもしれない！
でも勉強にはなると思うから何回か使うのは大事だと思う。 |
|---|

〈生活全般についてのアドバイス〉

- | |
|--|
| ・お風呂の時間が短くてゆっくり洗顔出来ないのめっちゃ肌荒れします。スキンケア用品を持つてくることをおすすめします。
・お腹が疲れた時は、スーパーでサラダを買って部屋で味噌汁と一緒に食べるといい。
・食べ物の味付けがとても濃いので、あまり爆食とかはしない方がいいと思います。
・私は飛行機で耳がかなりやられたので飴など持っていくと良いかもしれない。
・色々な国の食べ物がある一方で、特にアジア系の料理店では香辛料を多く使うため、チャレンジ精神が無いと食べるものがハンバーガーかフライドチキンか和食だけになります。
・私のファームステイ先ではサラダは夕食にしか出ずそれ以外は野菜を摂る機会がありませんでした。またホテルも果物＝野菜だったのでホテルにいる時は現地のスーパーでサラダを買いましょう。(レタスだけのやつは2ドル、サラダボウルは6ドルでした。)
・私は日本のお菓子より味噌汁が恋しくなったのでインスタントがあるといいです。
・オーストラリアのペットボトルの水は普通に飲めるのでわざわざ日本から大量に持つてくる必要はありません。(いろはすの方が美味しいのは確か。)
・フードコートの食べ物は高いので、スーパーで済ませるのもいいです。
・日本人店員さんがいるお土産屋では買うというまで店員さんがそばを離れないことがあるので、しっかり断りましょう。私はそれに引っかかって88ドルのハチミツを買いました。
・日焼け止めは必須です。塗らないと肌が痛くなります。
・目が弱い人はサングラスも持つて行きましょう。
・ミニサイズのヘアスプレーは没収されません。
・オーストラリアは英語ができなくても優しい方が多いです。だから伝えたいことを恥ずかしがらずにぶつけて欲しいです。(中学英語で全然通じます。)相手の言っていることが理解できたら理解したことをしっかり伝えるとコミュニケーションしやすくなります。私は ok!ok!understand!!と連呼してました。
・調整しやすい服を持つて行きましょう。時期的に半袖と羽織ものくらいがちょうど良かったです。
・高校見学や大学見学でインスタを交換するといい思い出にもなりますし、交流の輪が広がります。タピオカ屋は沢山あるのでタピオカロスになることはありません。 |
|--|

- ・英語が聞き取れない時に困った顔をしてしまうと相手も困った顔になって気まずい雰囲気が流れるので2割理解できたらわかった顔をしましょう。
- ・コアラの人形(地味なもの)やお菓子のお土産は現地の人が使うショップの方が断然安いです。
- ・カンガルージャーキーは輸入規制がかかっているので輸入許可がでてる商品を観光客向けのお土産屋さんで買しましょう。またオーストラリアの国旗を持ったコアラやカンガルーの人形はお土産屋さんにはないのでそっちで買しましょう。
- ・個人的な考えですが、勉強する時間があつたら現地の人と話したり日本にはない風景を楽しんで欲しいです。とにかく楽しんで欲しいです。
- ・英語も所詮は口語なので、日本語と同じで文法や発音を間違えていても伝えようという意思があれば伝わります。人間はジェスチャーも使えるのでその能力も駆使してください。
- ・1週間オーストラリアにいただけで価値観が変わり日本がちっぽけに見えます。どうぞ恥ずかしがらずに日本以外のものを五感を使って存分に感じ取ってきて欲しいです。
- ・勉強道具は荷物になるだけだから持って行かない方がいい。
- ・ほんとに積極的にどんどん英語は話した方がいいです。ファームステイの時は自分から話さなくてもいいから、スマホ触るでもなんでもとりあえず家族がいる所(リビングとか)にいるようにしましょう。
- ・計画的にスーツケースの中身は整理しておくべき。
- ・アレルギーや持病がある人は、その英語名と発音をよく練習した方がいい。(日頃使わない単語も多いだろうから…)
- ・朝や夜、雨の日は寒いので、薄手の上着があると便利。
- ・ホテルの中にはWi-Fiが繋がらないところもあるので、ギガは多く使えるようにしておいた方がいい。
- ・オーストラリアにはアジア系の人たちが多いから、アジア系の文化の知識を事前につけておくと会話がはずむ。KPOPは盛り上がる話題。
- ・毎日外食をしようとするので疲れるしお腹に悪いので1日くらいホテルでインスタント味噌汁やカップラーメンでもいいと思う。

(5)プログラムの内容に対する満足度
80%~300%

〈全体を通してのコメント・運営に対する意見〉

- ・ファームステイでも十分楽しかったので来年もそのままお願いしたいです。自由時間も多くとてもありがたかったです。
- ・AUの人と話す機会がたくさんあったり、プレゼンの発表だったり、ただの観光で終わらないプログラムで本当に楽しく学びの多いFWでした。自由に散策させてくれる時間が多かったのも現地の雰囲気をより身近に感じる事が出来たのでありがたかったです。すごくすごく楽しかったのここから受験勉強がんばります
- ・ファームステイできる日を増やせたら嬉しい。ブルーマウンテン晴れてて欲しかったよ！(しょうがない)。現地の高校で一日過ごせたのは本当に楽しかったです。全体的に楽しい瞬間ばかりの1週間でした。ひとつひとつに時間があつたのでとても良かったです。
- ・研修の内容が充実していてさまざま事を経験できる海外研修でした。出発の飛行機の時間をもう少し早くできないのかなと思いました。(夜ご飯の時間が遅すぎてその後2日は食に対する体調が万全ではなかったため)
- ・免税店は特に高校生にとっては高すぎたので、本当に必要なプログラムだったのかは少し疑問。
- ・近ツリの方々のガイドや説明が分かりやすくよかった。
- ・1日目の到着してすぐシドニー大学はちょっとしんどい。自分が何してるのか分からないまま気づいたら大学にいた感じだった。前半が過密スケジュールな気がしたのでもうちょっと合間合間に観光とか挟んでも良かったんじゃないかなと思う。
- ・すごく楽しかったし英語の実践も沢山できて学びもあり大満足です。先生たちのおかげで安心安全で終われました。ありがとうございました。

